

学校教育目標	「えがお なかよし チャレンジ」 ○自分のよさや可能性を伸ばしていこうとする子を育てます。 ○身近な人々や自然とのふれあいを大事にしていこうとする子を育てます ○自分の意志で判断し、よりよく解決していこうとする子を育てます。				【知・体】 【徳・公】 【開】
	48 周年	学校長 樋渡 典子	副校長 遠山 満	2 学期制	一般学級：19 個別支援学級：2
学校概要	児童生徒数： 657 人		主な関係校： いずみ野中学校、阿久和小学校、いずみ野小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	いずみ野中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力～なりたい自分を見つける力～	いずみ野中学校 阿久和小学校 いずみ野小学校	「夢の実現に向かって」 ・学びの目標の実現に向かって、挑戦し続ける子ども ・自他の違いを認め、進んで人とかかわれる子ども ・自尊感情を高め、自信をもって生きていく子ども 小・小中での授業研究や職員間の交流を通して、児童生徒一人一人の理解や各教科における指導の共通理解を図りつながりのある小中一貫教育の推進を行う。

中期取組目標	○「えがお なかよし チャレンジ」の実現に向け、地域と学校の連携を図りながら全職員がチームとなり、活力と魅力にあふれた地域から信頼される学校づくりを目指します。 ・学ぶ楽しさが実感できる授業づくりを推進し、学力向上に努めます。 ・身近な人やまちとのつながりを大切にし、豊かな体験を通してまちを愛する心を育てます。 ・一人ひとりが安心して自分らしさを発揮しながら学校生活に主体的に参画し、楽しい学校生活を送れるようにします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	①校内重点研究を中心に、多面的・多角的な見方や考え方で問題を発見し、身に付けた知識や技能を使って思考力・判断力・表現力等を働かせながら、よりよく解決していく力を育む。②一斉テストの実施や学習発表会などを通し、意欲的に学び続けられる機会をつくる。③学校司書、司書教諭、図書委員会の活動により、学校図書館の利用促進を図り、読書活動を充実させる。
豊かな心	①たてわり班活動を中心とした異学年交流の充実を図る。②道徳の時間を充実させ、年1回、授業公開をする。③人権週間の取組を充実させる。④Y・Pアセスメントを活用して、より良い人間関係を構築する。
健やかな体	①大縄大会、水泳大会、なわとびタイムなど、全校による体力向上の取組を通じ、心身ともにたくましく生きる力を育む。②新橋けんこう会議を開催し、健康についての活動を年間を通して継続的に取り組み、自ら健康を保持増進しようとする態度を高める。③栄養技師と連携しながら、家庭科や総合的な学習の時間などで食育に関する授業を行う。
公共心と社会参画	①学んでいることを社会と関連付ける工夫などを通して、身近な出来事や社会問題への興味関心を高め、自分の役割と責任を自覚し、行動する力を育む。②横浜の時間などの学習活動を通して、地域の方の思いや生き方にふれ、地域社会のために自分ができることを考え、他者と協働しながら課題解決を図っていく。
地域連携・学校運営協議会	①幼保小連携を推進し、園児を招いて一緒に活動したり、運動会などの招待状を出したりする。②小中連携を推進し、合同授業研究会や授業参観などを行う。③泉区民マラソンやアツテ祭りなど児童とともに参加する。④地域による授業参画(6年文化体験、5年米作り、4年りんご狩り、1.3年首遊び、2年サツマイモ栽培など)を継続して行う。⑤生活科・総合的な学習の時間を核として地域との連携を深める。⑥学校懇話会で地域の意見を吸い上げ、学校運営に反映し、学校運営協議会の準備をする。
児童指導	①新橋小ルールブックを学校全体で理解し、一貫した指導を行っていくことで、規範意識を育む。②横浜プログラムを計画的に実施し、自分のよさに気づくことができるようにし、自己肯定感を高める。③児童理解研修を定期的に行い、全教職員で児童理解を図り、チームで対応できるようにする。
いじめへの対応	①いじめ防止基本方針を確認し共通理解を図るなど、いじめ防止研修を実施し、全教職員がいじめに對するアンテナを高くし、いじめを見逃さない体制づくりを行う。②生活アンケートを年2回実施し、児童から丁寧に聞き取りを行うことで、いじめの未然防止や早期発見・早期解決に努めていく。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①主幹教諭等をリーダーにした3部会を運営組織の柱とし、企画調整会議や学年主任会で情報交換、意見交換を充実させる。②メンターチームを活性化させ、授業研究や実践提案を通して、学習指導や生活指導の実践力を高める。③校内研修の計画的な実施により、指導力や危機管理対応能力など、学校に求められている教師の力量の向上を図る。④校外学習等の会計処理を業者に委託したり、電子申請の幅を広げたりして事務の簡便化・効率化を図り働き方改革につなげる。

